

Gitのインストール方法 【Windows】

Kronos

目次

事前準備	1
手順1：インストーラを入手する	1
手順2：インストールウィザードを進める	2
手順3：インストール確認&初期設定	7
手順4：簡単な動作確認サンプル	8
補足・ポイント	9

事前準備

以下は、Windows端末で Git をインストールする 手順書 です。

(※使用している情報は 2025年9月時点までの公式サイト・解説記事に基づきます)

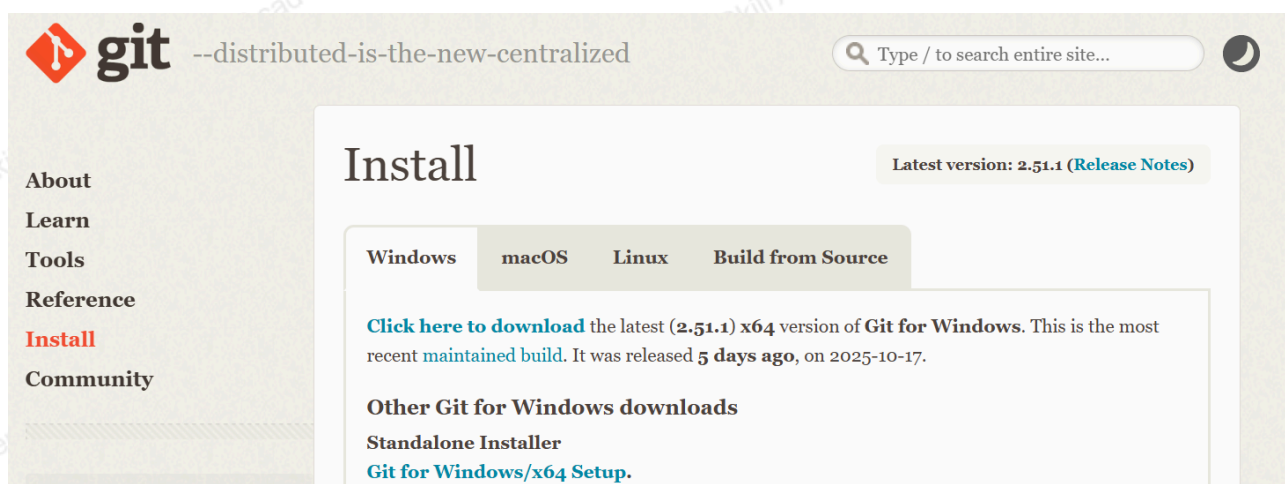
手順1：インストーラを入手する

1. Webブラウザを開き、次の URL を入力またはクリックします：

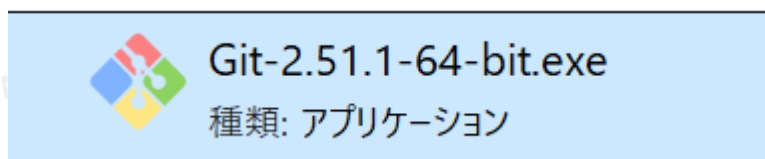
<https://git-scm.com/install/windows>

※公式サイトの「Windows用インストール」ページです。

2. ページ上で「Click here to download ... x64 version of Git for Windows」などのリンクが表示されます。画面に「ダウンロード」ボタンが出ていればクリックして保存します。



3. ダウンロードされたファイル（たとえば `Git-2.xx.xx-64-bit.exe` のような名前）を確認します。



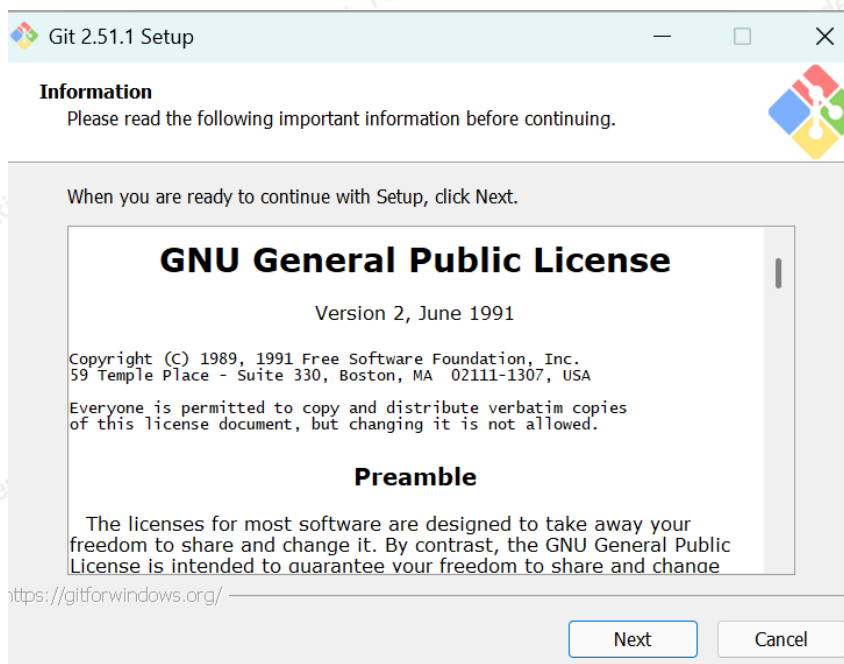
4. ダブルクリックしてインストーラを実行します。

- 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」といった画面が出たら「はい」または「許可」を選びます。
- これでインストール開始です。

手順2：インストールウィザードを進める

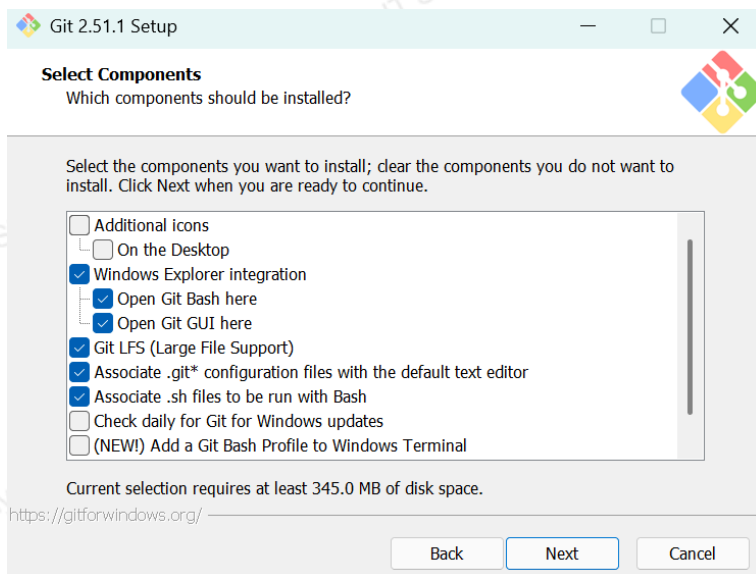
以下の順でウィザードを進めます。初心者の方は 基本的に「次へ(N)」をクリックし、デフォルト設定のまままで問題ありません。

1. 「Setup - Welcome」画面：そのまま「Next >」をクリック。



2. インストール先フォルダを聞かれます。デフォルトのまま（例：C:\Program Files\Git）で「Next >」。

3. コンポーネント選択画面：デフォルト設定で「Next >」。

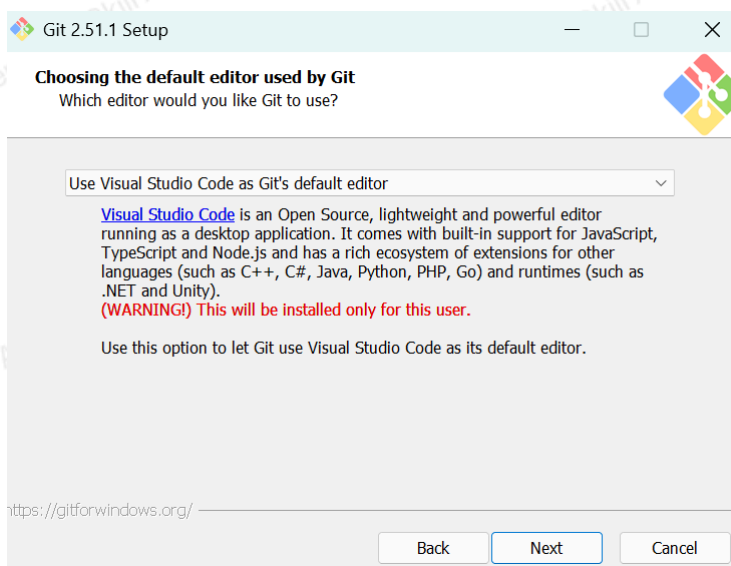


4. スタートメニューフォルダー選択：デフォルトで「Next >」。

5. デフォルトエディタ選択：

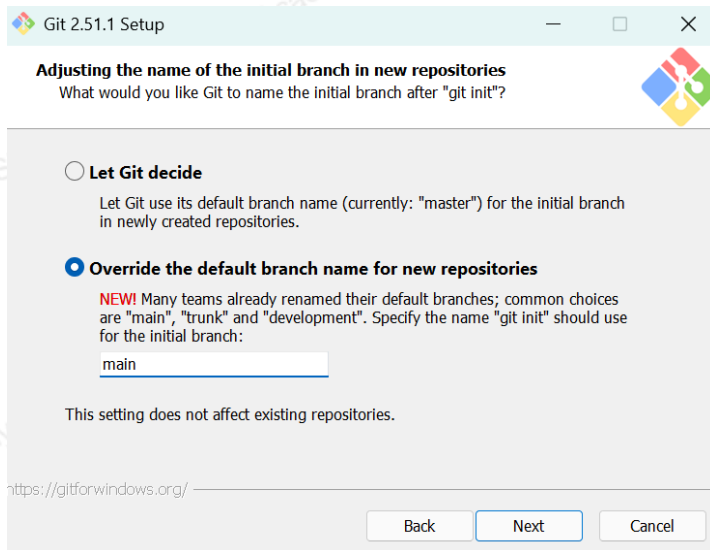
デフォルトは「Vim」というエディタですが、初学者には操作が難しい場合があります。

※推奨は「VSCode」



選択後「Next >」。

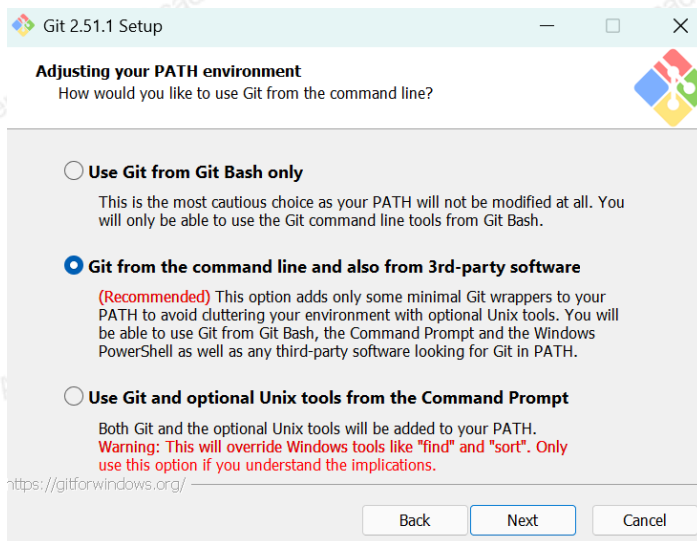
6. 初期ブランチ名を聞かれます（例：「master」または「main」）：「main」を選ぶことが最近の推奨です。



「Next >」。

7. PATH 環境変数に Git コマンドを登録するかを問われます。

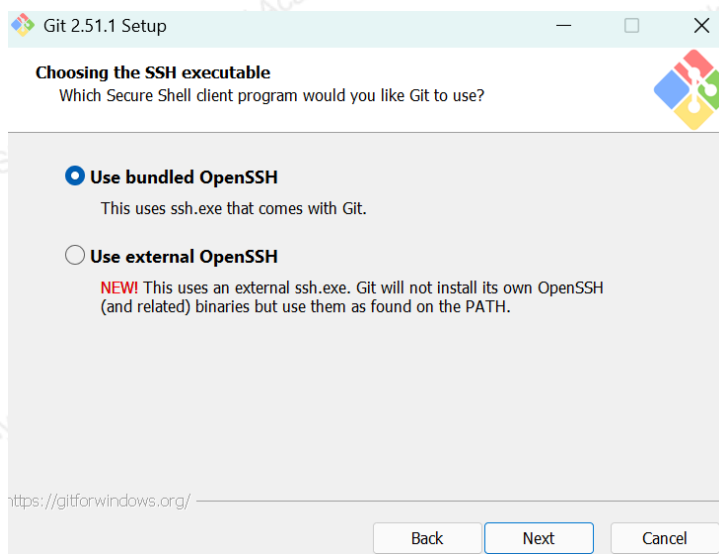
「Git from the command line and also from 3rd-party software」（Windows のコマンドプロンプト・PowerShellなどからも使える）を選ぶのがおすすめです。



選択後「Next >」。

8. SSH 実行ファイルの選択：

「Use bundled OpenSSH」（Git に付属の OpenSSH を使う）を選んでおけば無難です。



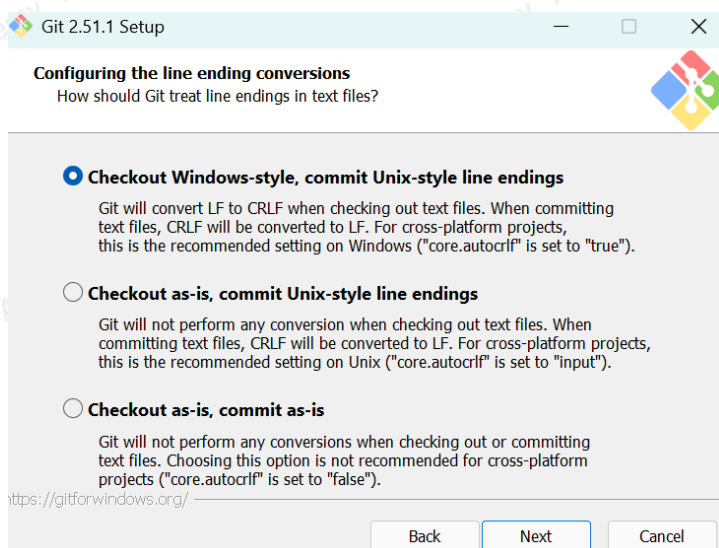
「Next >」。

9. HTTPS トランスポートバックエンド選択：

デフォルト設定で「Next >」。

10. 改行コード（CRLFやLF）に関する設定：

Windows環境なので「Checkout Windows-style, commit Unix-style line endings」（Windowsスタイルでチェックアウトし、Unixスタイルでコミット）を選ぶことが多いです。



「Next >」。

11.ターミナルエミュレータの選択：

- 「Use MinTTY (the default terminal of Git Bash)」を選択
- 「Next >」。

12.git pull の動作選択：

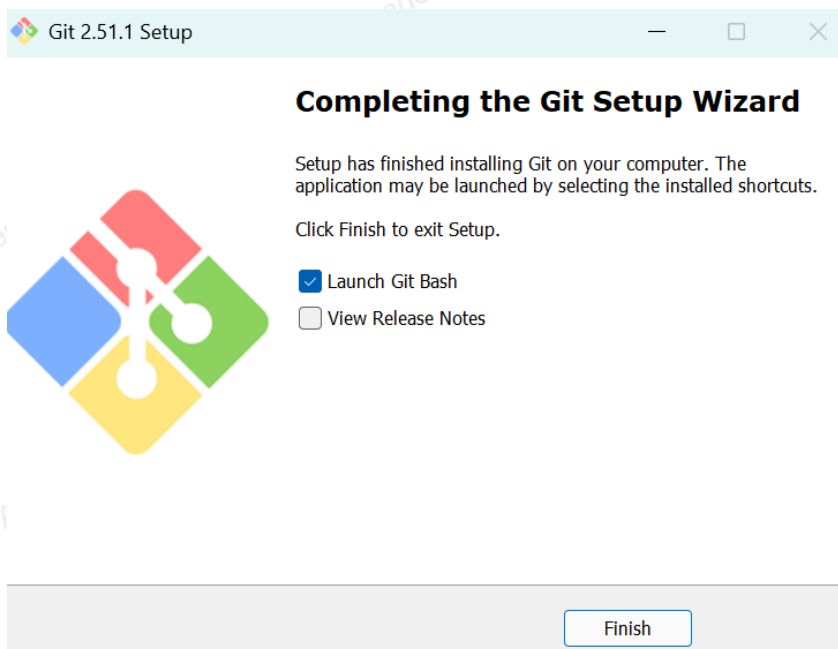
- 多くはデフォルトの「Fast-forward or merge」を選択
- 「Next >」。

13.追加のオプション：

- デフォルトままで「Next >」。

14.最後に、デフォルトままで「Install」をクリックしてインストール開始。

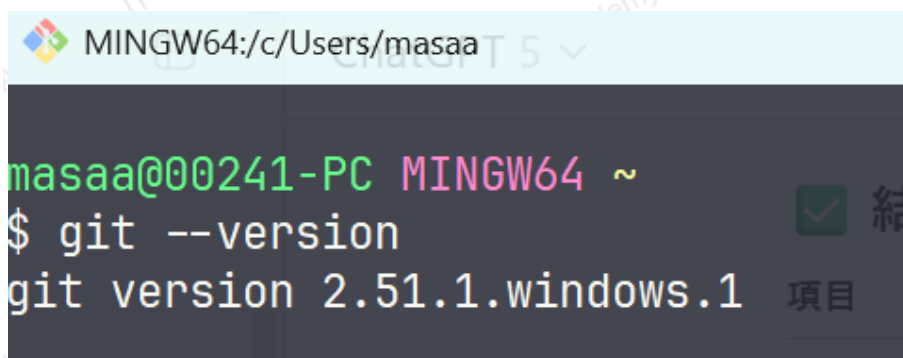
15.インストール完了画面が出たら「Finish」をクリック。その際「Launch Git Bash」にチェックを入れておくと、すぐに Git Bash を起動できます。



手順3：インストール確認&初期設定

1. スタートメニューから「Git Bash」または「コマンドプロンプト」を開きます。
2. 以下コマンドを入力して、バージョンが表示されればインストール成功です。

```
Shell  
git --version
```



次に、Git を使うための**自分の名前とメールアドレス**を設定します（これはコミット時に作者として記録されます）。

```
Shell  
git config --global user.name "あなたの名前"  
git config --global user.email "あなたのメールアドレス@example.com"
```

※「-global」を付けると、今後作るすべての Git リポジトリにこの設定が適用されます。

3. 確認：

```
Shell  
git config --global --list
```

4. 自分で設定した内容が表示されればOKです。

手順4：簡単な動作確認サンプル

初心者の方が「正常に動くか」を確かめるための簡単なサンプルを紹介します。

1. 適当なフォルダ（例：`C:\Users\あなた\Documents\git_test`）を作成します。

```
Shell
mkdir git_test
cd git_test
```

2. リポジトリを初期化します。

```
Shell
git init
```

3. 「Initialized empty Git repository...」と表示されればOK。

4. ファイルを作ってみます。例：`hello.txt` を作成して中に「Hello Git!」と書き保存。

5. 「ステージング（追加）」→「コミット（保存）」を行います。

```
Shell
git add hello.txt
git commit -m "初めてのコミット"
```

6. メッセージ（`-m` の後）は「なにをしたか」を簡単に書きます。

7. 状態を確認します。

```
Shell
git status
```

8. 「何も変更がありません」と出れば、一連の流れが成功しています。

補足・ポイント

- 上記手順では **ほぼすべてデフォルト設定**で大丈夫です。初心者は細かい設定を気にしすぎず、まず「インストールして使えるようにする」ことを優先しましょう。
- インストール後、慣れてきたら設定を変更する（エディタを変える、PATHを変えるなど）こともできます。
- リモート（例えば GitHub 等）との連携は講義で説明します。

以上で、Windows端末に Git をインストールして、簡単な操作を試すまでの手順となります。

もし途中で「この画面何を選べばいいの?」とか「エラー出たけど何これ?」ということが出たら、講義中に気軽に聞いてください。

- 記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- なお、本書では登録商標マーク、商標マークは明記しておりません。

「Gitのインストール方法【Windows】」

最終改訂日 2025年 10月 22日

著 作 : 株式会社クロノス

発 行 : 株式会社クロノス

本書の一部または全部(ソフトウェア及びプログラムを含む)を無断で複写および複製することは著作権法上の例外を除き禁じられています。